

■現状・全体意見

【現状】

- 施設の概要
 - ・4フロア 3,800㎡
 - ・80床あるが使用しているのは60床ほど
 - ・入院は30人ほど
 - ・精神科は週2日
 - ・曜日が決められていて受けられない
 - ・外来は200人/日
- 現状の問題や課題
 - ・交通アクセス、赤バスの課題
 - ・入退院を繰り返す人が多い
 - ・女性の入院にハードルがある
 - ・経営のシステムが崩れている
 - ・市立更生相談所の廃止の影響
 - ・医療センターはタダではない
 - ・病院に意見を言える環境がない
 - ・薬がほしいのにもらえない
 - ・なぜ歯科なくした？
 - ・結核の問題を抱えている人が多い
 - ・たくさんの方が来るためトラブルがある
 - ・精神病を患う女性、野宿者が増えてきているのが気になる
 - ・患者が高齢化してきている。かつては成形が多かったが、生活習慣の病気が増えてきている
 - ・アルコール依存の患者さんは普通の病院で受け入れるのは難しい
- 居場所機能
 - ・お金がない人や保険のない人の大事な寄りどころ
 - ・よその地域から排除された女性が釜ヶ崎にきている

【基本の考え方】

- 利用者のニーズを考える
 - ・誰が利用しているのか？地域の人、野宿者、労働者？
 - ・将来のニーズを見すえた機能を考えるべき
 - ・女性、子供の受け入れで労働者を排除しないように
 - ・どんな人も利用できる病院
- 民間との関係
 - ・民間と社医センの役割分担はどうするのか？
 - ・私立病院に任せきりは良くない
 - ・行政がどれだけ予算を付けるのか
 - ・直営なのか民間なのかをはっきりして、どれだけ行政が出してくれるのか
- 運営
 - ・特化型で内実を議論すべき
 - ・福祉システムこのままでいいのか？
 - ・医者は患者との関係を築くことが重要
 - ・無料低額は継続できるのか？
 - ・運営は赤字を減らして継続的に
 - ・病床が多ければ施設を回していきやすい？
 - ・経営者、当事者の考え意見は？
 - ・まちの変化に応じて医療も変化していく
 - ・多様な人が来たとき、病院はそれに対応できるのか？
 - ・治癒、自立生活に繋げることで、医療費の抑制につながるのでは
- ファミリー層が利用を遠慮してしまう
- 一般的な病院必要？
- 太田先生が医療センターをつくってくれた。その志を継ぐべき

■これからの機能

- 地域との関係
 - ・地域に根ざし継続して治療できる
 - ・地域と協力して維持していく
 - ・地元の中に色々なケアを増やすべき
 - ・地域でのニーズとの関連性が大きい
 - ・労働者が行きやすい医療センターに
- 総合化、専門化、どちらでいくのか、決めるのが先
 - ・専門化、総合化どちらもメリットはある
 - ・医療センターを経営している人の話を聞くべき
 - ・診療所が変わったならなにもできない(手術など)
 - ・特化と強化は別。複合的な病院が必要
 - ・複合的な病症に対応できる病院機能を
- 総合病院機能(複合的な医療)、専門病院機能
 - ・子供、女性、個別性に丁寧にできる医療センターに
 - ・一人一人の尊厳や状況に丁寧に対応する医療センターに
 - ・精神病を患う女性の野宿者の受け皿をつくるべき
 - ・たくさんの方の病棟は無くとも、結核の病棟が必要
 - ・結核や精神など全ての症状をまとめるのはどうなのか
 - ・労働者、地域住民、これから入ってくる子供、ファミリー層、結核患者、精神疾患を抱えている人(最近女性野宿者が増えている原因)すべての人に一人一人の尊厳や命、状況に丁寧に対応できる体制を
 - ・ファミリー層などの新規居住のためには必要(特に小児科、現状は子育てニーズに対応出来ていない)
 - ・最先端の研究所を医療センターの中に作る(高度医療、先進医療)
 - ・総合化の場合、規模が大きくなるのをどうする?(大病院化しようというわけじゃない)
 - ・すべての機能を持たすことは難しい→「結核」「精神」などを充実、集中的に
- 診療科目などを充実すべき
 - ・小児科が必要(結核イメージとマッチしない)
 - ・アルコール課題についても治療できる精神科を
 - ・水、金の診療を毎日
 - ・入院のできる社医センが必要
 - ・退院後すぐ再発する、あとの体制も必要(居宅介護)
 - ・時代時代のニーズによって変わっていく診療内容に
 - ・薬物依存の治療も必要(アルコールも)
 - ・精神科(訪問診療も)、アルコール依存、高齢者、合併症、結核機能を備えた複合的医療
 - ・医療、在宅、地域連携ができるシステムを→PSW、MSWの配置が重要

■これからの機能

- 結核について
 - ・結核患者の入院機能
 - ・結核の治療には西成は向いていない?
 - ・結核病院(病床)は必要
 - ・この町の中で結核の治療ができ、生活も出来るように
- 相談機能(生活をサポートする新しい福祉)
 - ・適した職を与える仕事のサポート
 - ・退院してからのシステム
 - ・入院機能、退院後のフォロー
 - ・在宅医療をかえていく
 - ・患者の話を聞いてほしい
 - ・地域連携室を設置してほしい(専門の相談)
 - ・精神的、生活や社会復帰、安定した生活に繋げていく相談機能
- 医師・医療スタッフ
 - ・志のある医師が継続的に(長期的に)勤務できるように
 - ・専門相談や医療従事者が必要(アルコール、薬物)
 - ・他の医療機関へもつなぐ事が出来る人(他の機関と連携)
 - ・地域関連の研修(地域のことを知ってもらいたい)
 - ・設備を更新しても対応を変えないと変わらない
 - ・信頼できるお医者さんがほしい
- 3,4Fに避難場所を
 - ・日常は図書館などに利用
 - ・医師がいる場所だと安心する
 - ・隣接でもよい
- 無料低額
 - ・無料低額診療の継続(絶対必要)
 - ・MRIや高度の医療器械を無料低額は難しい
- 病床
 - ・結核の病院作ってほしい

■必要な規模

- 今の規模が必要か
- 入院病床も必要
- 将来必要な機能を考慮した規模構成
- 総合病院化すれば、規模が大きくなる
- 病院としては、現状は小さい
- 結核の入院病床は別の建物にしなくてはいけない(現実的かどうかは定かではない)
- 今の規模を維持することが最低限(補助金のことなど)

■更新方法・立地

【どこに更新するか?】

- 病院は地域内に
- 他の施設と別に考えていい
- 連携しやすい立地
- 機能や規模との関係から場所を考えたい
- 労働福祉センターと連携
- 避難場所や防災シェルターと近接
- 住宅と親和性があるので一緒に萩小移転するのは
- 北公園などの公園はどうか
- 公園を壊すのは良くない
- 現状のままの社会医療センターなら住宅と離れた方がよい
- 継続するためには住宅と一緒に移転すべき
- 社医センが萩小に移転したら動線が厳しい(通勤の医師、看護師)
- 萩之茶屋小学校跡は、住宅だけでは広すぎるのでは、社会医療センターも一緒に

■現状・全体意見

【現状】

- 建物の状態
 - ・耐震性の問題など早急な対応を
 - ・地震がきたら大変（エレベーターが傾いている）
 - ・地震いつ来るかわからんから怖い
 - ・住戸部分だけを取っ払う工事できる？（労働センターを使いながら工事可能？（耐震上、運営上））
 - ・明日危ない住宅をどうにかすべき
 - ・駐輪場がない
 - ・1と2の住宅は寿命が違う
 - ・人の命を優先にすべき
 - ・地震のときに自転車が倒れて危ない
- 居住者の状態
 - ・10年先はみんなが年寄り。動ける人がいなくなる
 - ・年配の人が怖い。若い世代が自治会内に入ってきている
 - ・現在の平均年齢は70歳前後
- 第2住宅で心配なのは店舗（生活があるため）、当初28店舗、現在は10店舗
- 第1住宅126戸、第2住宅87戸
- 子育て世代向けの住宅が一棟も建っていない

【基本の考え方】

- 入居者のイメージは
 - ・若い世代のイメージは人それぞれ異なるのでは
 - ・家族世帯とは、具体的にどんな人なのか
 - ・今宮小中一貫校に行く子どもが増えるように
 - ・若い人に入ってほしい
 - ・現在の世帯と新しい世帯の共存は可能か
 - ・子育て層の増加に向けて
- 第1住宅と第2住宅の関係
 - ・第2住宅はまだ耐震上もつのでは
 - ・第2住宅を残すのは非現実的。メリットある？
 - ・第1住宅と第2住宅が同時に動いたとしても3年はかかる（事業着手後）
 - ・第1,2が同時に動くかどうかで話が変わる
 - ・第1,2住宅を別々として考えるのではなく、全体として考える
- 移転について
 - ・あいらん地域内で移転がすでに決まっているのでは
 - ・住んでる人がそこがいいって言うなら、他は別にそれでいい
 - ・移転先は機能とボリュームによってかわるので細かな案は詰められない
 - ・小学校の跡地利用の話はまだしていないのでこの段階で住宅の話は？（思い入れがある）
 - ・萩小以外の移転先があれば教えてほしい（選択肢はあるのか、青写真がないから判断できない）
 - ・市営住宅の移転問題に関して、和歌山に住民主導の移転事例がある
 - ・あいらん外という選択肢があってもいいのでは
 - ・萩小の使途も広がる「決めうち」は良くない
- 意見を聞く場
 - ・参加できない労働者たちの意見を取り入れる
 - ・住民さんで「参加型の住宅づくり」の先進事例を学ぶ場や視察も、住民のイメージを作り上げるために進めたい
 - ・住民がアイデア出したり、議論しながら住宅をつくっていく場がほしい（先進事例の視察も）
- 見守り機能
 - ・"見守り機能" どこかの施設じゃなくまち全体で考える
 - ・ヘルパーや介護の習慣が地域内で成り立っている
- 土地価格が上がる（駅周辺活性化で）ので新築入居は無理なのでは？
- 住宅はすぐに対応。労働は時間をかけて
- 子育てのことは、市営住宅だけでなく地域全体の課題→地域を含めた自治会組織を立ち上げる
- 萩小に移したとして残りのスペースはつくれるのか（萩の森は残るの？）
- 建て替え地はまち全体として考えるべき
- 住まいと一緒に便利な地域交通を考えてほしい（赤バスもなくなった）

【市営住宅住民の想い】

- 意見を良く聞く
 - ・住民1人1人へ丁寧な説明や意見を聞く
 - ・住宅の事は、住人だけで別会議を
 - ・第2住宅は、11月20日の会合で理解を得られれば検討
 - ・住人の班長を呼んでは
 - ・第2住宅では、今まで集まって話をしたことがない
 - ・住民への正確な説明が不足
- これまでの生活を大事にしたい
 - ・居住者の繋がり（昭和45年以前からの住民のつながり）を大事にしたい
 - ・仮設住宅は地域内に
- 移転・地域に住み続けたい
 - ・今の生活環境を変えず移転したい
 - ・110名以上が萩小跡に移転で合意している
 - ・移転に反対、違う意見を持つ残りの2割の人はどう思っているのか
 - ・地域に密着している人が多いから地域から出たくない
 - ・移転費用はどこで担うのか
 - ・この地域以外に移る気はなし
 - ・費用的な問題、時期が分からない
 - ・家賃が上がらず住み続けたい
 - ・引っ越し費用、設備費用などは十分か
 - ・建替えなどで生活が破たんしたら困る
- 店舗について
 - ・商店機能を具体的にはっきりと話し合いを
 - ・建て方によっては店舗に意味がない（建て方によっては商店が変化する）
 - ・商店機能は絶対必要（第2住宅）
- 耐震問題は立退きの口実では
- アンケート結果を役所へ提出します
- 縦のつながりはないが、横のつながりは強い

■これからの機能

【住宅の機能】

- ファミリー層の住める住宅
 - ・ここで子供が育つ住宅に（施策を、転用支援）
 - ・保育所を併設
 - ・新しい世代を呼び込む住宅に
 - ・簡宿から家族向け住宅に転用（簡宿の利用）
 - ・子育て世代の住宅免除を
 - ・子育てをするための安心が必要ではないか。①医療②防災③遊び場の機能があるのではないか
- 新しい住民の入りやすい住宅
 - ・単身・若者・高齢者など
 - ・だれもが安心して住める（来たくなるような住宅）
 - ・仕事をさがす少ししんどい人（地域に仕事があるから集まる）
 - ・労働者の単身用住宅（シェルターではなく、単身者が入れる住宅（低家賃））
 - ・子育てをしている家族に、「まちの良さ」をPRしてもらう（安心できるまちになるのではないかと）
 - ・倍率が低い「いいところ」だと宣伝してほしい
- 防犯・防災対策
 - ・防犯ベルを付けてほしい。周辺住人に聞こえるくらい。孤独死がなくなる
 - ・孤独・ひとり身SOSを出せるボタンが欲しい

【住宅以外の機能】

- 機能は分散（バラバラに）してもよい、住宅は別に考える
- 住宅以外の施設
 - ・生活用品が買えるような店舗は必要
 - ・広場（イベント用）
 - ・憩いの場
 - ・DOTS
 - ・萩の森は残して、萩の森プレイパーク
 - ・保育所
 - ・防災機能
 - ・市民館・公民館のような緊急時集まれるスペース、中学校も含む地域全体で考える
- 支援サポート
 - ・軒下で寝ている人をなくすためにはシェルターや仕事の支援が必要
 - ・福祉や見守りが必要
 - ・サポート機能、つながりをつくる機能があれば安心
 - ・この住宅だけで行うのはむずかしい

【住まいと労働の関係】

- 仕事と住宅をセットで考える
- まちの仕事（店）もある
- 労働者が入れる住宅を作してほしい
- 市営住宅で、若い世帯が仕事をもち、住まえる住宅がほしい

【住まいと医療の関係】

- 住まい・仕事・医療を一緒に（病院は近くにあった方がよい）
- 住民は社医センは使っていない。地域の「まち医者」を使っている
- 社医セン、今のままの機能だと地域にはあまり関係ない
- 逆に、地域の人は社医センに行きづらい
- 町には病院がいっぱいあるが、今のままの社医センの機能は必要？
- 社医センの特別な機能（結核）を必要とする人もいる

【住まいと駅前の関係】

- 駅前の開発に合わせて住宅も付置される可能性が高い
- 駅前に商業・住宅一体の施設を（駅前ということを活かす）

■必要な規模

- 今の住民と新しい住民が住める規模
- 規模を大きくして若い人をたくさん入れてほしい
- 現入居者＋外から入ってくる人も想定したボリュームが必要
- 高層住宅をつくる
- 規模を小さく、移転

【住戸の具体的な提案】

- いろんな世帯が入る住みやすいプラン
- 子どもの部屋を広く
- コの字、口の字型の設計
- 中庭を広く→駐輪、駐車、店舗
- 3世代住宅も必要（住宅の建て方の多様さ）
- 多様な住まいや他機能も組み込んでほしい
- 単身世帯（今住んでいる人）はスペースを小さくしてもよい
 - ・その分、ファミリー層へ（間取りの工夫）
 - ・単身高齢者のための間取りの工夫が必要では？

■更新方法・立地

【更新方法】

- 一度に一括して更新した方がよい(第一も第二も)、費用も安くなる
- 現地建替えか移転か、住宅は建替えより移転してほしい
- 他の機能との関係
 - ・住民の生活リズムを考慮した更新
 - ・社医センと住宅を一緒にすることは受け入れられる
 - ・他の機能と近くでもよい
 - ・下に店舗、上に住宅

【どこに更新するか?】

- あいらん地域“内”で検討
 - ・社医センと住宅、一緒には萩小へ
 - ・空いている公園、運動場など活用を
 - ・萩小跡地はどうか
 - ・配付地図をあいらんとしたら移転でよいのか?
 - ・年配の人が多く、遠い地区に移転するのは難しい
 - ・仮移転のある現地建替えより地域内建替えによる1回移転
- あいらん地域“外”も含めて検討
 - ・弘治/今宮/馬淵も選択肢
 - ・あいらん地域(地図)の範囲外も選択肢
 - ・クラブコスメ跡地を候補地に入れるべき
- センターより先に住宅を着手
- 第一住宅の意見
 - ・小学校跡地に移転したい(住民ほとんどの意見)
 - ・住宅建替えは早く着手してほしい
 - ・耐震が心配ですぐにでも移転したい人は他の市営住宅に移れるように
 - ・みんな一緒に移りたい
 - ・萩之茶屋小学校跡地がだめなら、徒歩圏内に。たとえばコスメ跡地
- 第二住宅の意見
 - ・基本的に現状維持を希望
 - ・理解が得られれば移転も
 - ・歩いて10分以内がいい
 - ・店舗の運営が成り立つような場所に移転してほしい

□第1住宅 説明会での意見

【居住者からいただいたご意見】

- 現状
 - ・この建物にはE Vが1か所だけなのはなぜ？
 - ・非常階段の手すりがあった→補修
- 現状の問題
 - ・バリアフリーになってない
 - ・自転車置場がない。駐輪場が必要
 - ・自分で車いすを漕いでエレベータに入る時、閉まるまでの時間が短くて挟まる
 - ・設計上の問題。入口が一つ
 - ・通路が狭い
 - ・住宅の希望の窓口を決めてほしい→都整局
 - ・今の住宅は危険である。直ぐに変わりたい
- 周辺環境の改善要望
 - ・銀行・郵便局・公園（緑）は近くに欲しい
 - ・病院・特養は用地の中でできないか→可能と思える
 - ・センターはどこへ。これから議論される？萩小跡への移転は出ていない
 - ・交通の便は良い。→西成と言う名前で（損をしている？）
 - ・環境を良くして欲しい
 - ・賑やかに。ただ、現状を見て逡巡する人が多い
 - ・駅前にはぎやかに。子育て世代流入。萩小で公園。子どものいるようなもの
 - ・駅前の1等地の利用については、銀行、郵便局が欲しい。総合ホテルを建てればよい
- 建物への要望
 - ・地域特性を考えて防犯上の対応が欲しい
 - ・停電時のE V対応が欲しい
 - ・簡単に人が入れないようにしてほしい
 - ・四角く、お互い向き合った形で建ててほしい
 - ・居住空間の希望。四角であれば顔を見れる。集える場も必要
- スケジュール、計画の担保、説明
 - ・仮移転で移った所でずっと住みたいとなるかも
 - ・アンケートなどを取ってみればどうか、それぞれの希望を聞くことが必要
 - ・萩小跡地なら3年→耐震問題で不安な方は移ればよい
 - ・耐震0.21 待ったなしなのに4年？
 - ・他の市営住宅で同じような状況の所はないのか
 - ・選挙の結果で、また話が変わるようなことはないのか→市長は任期満了までするとのこと
 - ・空家抽選の制度は利用できるのか？
 - ・出城、津守以外の空いている住宅も教えてほしい
 - ・行政側からの情報がない
 - ・萩小跡地に行ったら、何階建てになるのか、萩小跡地なら何年ぐらいかかる？ 萩小跡地で3年というのは確かなのか
 - ・本体は都市整備局が建築地を示すのが筋
 - ・住宅は地域で合意を得る必要がある。そのため検討会議を開催している
 - ・建替えまでに時間がかかる。それまでどうするのか
 - ・来年春の選挙によって、会議の結論への影響はないか
→予算措置ができるか否かが問題。市長の任期は12月までであるので、予算立案は当然される
- 更新方法
 - ・この建物が建設されたときには、子どもだったが、当然この住宅に入居することが決まっていた。しかし、同時に他の住宅を選択し、引っ越して行った人もいた。今回も選択できるはず
 - ・子育て世代の呼び込み
 - ・移転したい人は移せるようにしてあげたらどうか。耐震の問題等を考えれば、すぐにでも移りたい
 - ・みんながみんな一緒に移りたい訳ではない
 - ・出城、津守は可能？空いている住宅に移りたい
 - ・すぐに移転できるようにして。空いているところに
 - ・④の候補地などわからない。②に誘導しているのでは
 - ・②でまとめたい。ダメな場合③
 - ・②か③なるべく早く建替え。他のところを選ぶこともあり
 - ・候補地は萩小跡で合意が図れつつある
 - ・情報の管理を行い、議論を萩小学校跡地に誘導している
 - ・萩小跡地。場所はしょうがないと思われつつある
 - ・徒歩10分位のところ。浪速区コスメの跡地。馬淵は遠い
 - ・浪速区はハードルが高い
 - ・新建物は子育て世代が入るもの良いとの意見があるが、今以上に戸数を増やすことは？
 - ・私は87歳になる。仮移転はしんどい
 - ・遠方への転居はいやだ。近時が良い

□第2住宅 説明会での意見

【居住者からいただいたご意見】

- 現状
 - ・LEDにして、明るくしてよかった
 - ・夜間のLED電灯をつけることにより安全がはかられている
- 現状の問題
 - ・玄関の蛍光灯が切れている
 - ・住宅内で犬・ねこの糞がある改善してほしい→住宅管理センターに伝えます
 - ・あまり意味のない補修をしているくらいなら、犬・ねこの糞対策をするべき
 - ・道端で小便等役所がそういう人たちに過保護すぎる
 - ・壁のひび割れの補修方法が気に食わない。ペンキを塗っただけ
- 周辺環境の改善要望
 - ・周囲の環境を良くしないといけない。子育て世帯入ってこない
 - ・移転先は、子育て世代というが周りの環境を見るとひどい。環境改善が先では→全力でがんばる
 - ・検討会議の意見。子育て世代の入居を求める声も
 - ・住宅が変わるのはいい話。しかし周りの環境改善を進めてほしい
 - ・市は住人のことを考えるべき。路上生活者などの対策をしていない→治安は警察。ごみは今改善している
 - ・環境は大阪市が悪い。生活保護者を優先。朝から飲んで寝ている。注意しているところを見たことがない
 - やれることは一步一步
- 建物への要望
 - ・ベランダの柵（木）が腐っているのでアルミに変えてほしい（泥棒対策）
 - ・EVの前（6階）の壁が一部つぶれて落ちてきた（2,3枚）。4年後というのはあるが随時、補修してほしい
- スケジュール、計画の担保、説明
 - ・今の計画では何年後くらいに建物が建つのですか→決定してから4年くらいはかかる（早くて4年）
 - ・市長・知事が変わってこの事業はするのですか→YES
 - ・決定はいつ？→会議は12/1に終わる。皆様の了解が得られれば、市長決断後
- 更新方法
 - ・別の住宅に移りたい場合の説明をしてほしい→建て替えが決定すれば他の市営住宅にうつることは可能
 - ・子育て世帯が入ってこれるようにしてはどうか（鈴木顧問）という意見もあった
- 間取り、家賃等
 - ・今、住んでる部屋の大きさ、家賃等が新しい住宅ではどうなる
 - 今より狭くなることはない（今住んでいる人数により大きさが決まる）
 - 今、43平方メートルなので今の家よりは広くなると思う
 - 家賃は6年間の傾斜（6年かけて家賃を上げていく）

□第2住宅 説明会での意見

【店舗からいただいたご意見】

○現状

- ・歳をとっているので動きたくないというのが本音
- ・高齢となり転居というだけでもぞーっとしている。このままおいといてほしい
- ・第2は耐震いけるから移らんでいいと思ってた。会議で第1と一緒に第2も移ったらとなっている

○建物への要望

- ・第2住宅の店の前にある囲いは商売の邪魔、この4年間そのままでは困る。囲いをとってほしい

○意見を聞く場

- ・会議の委員36名中2名しか住宅の代表がない
- ・住宅の代表2名の意見にかき消されないようにしてほしい
- ・あくまで住宅の住民の意見を重視してほしい
- ・いただいたご要望を聞いたので意見を反映した青写真を提示したい→それを受けて判断したい
- ・町会としては第2住宅は残すという意見
- ・4年後より今が大事→何回か議論して決める。

○具体的な説明

- ・青写真を持ってきて具体案を説明してほしい
- ・総論は賛成だが各論は青写真を書いて説明してほしい
- ・移りたくないという意見もあった。青写真を次回もってくる。長い目で見ても
- ・総論は賛成。各論はこれからで願います

○スケジュール、計画の担保

- ・計画の時間軸（スケジュール）を教えてください
- ・診療が先に移ると聞いていた
- ・労働センター、医療センターの稼働はどうか？（第1住宅工事中は）
- ・計画はいつから始まるのか教えてください
→平成27年1月に市長決断。設計・発注、工事するまで2年、工事期間2年、合計4年
- ・営業はぎりぎりまでやってもらう
- ・時間軸を知りたい→老朽物件から順番に建て替えをしている。新しい建物ができてから解体するので、早くても解体工事が始まるのは5年後、今の状況は4年間変わらない

○あいりん総合センター、社会医療センターについて

- ・診療所が規模縮小すると聞いている
- ・病院が縮小されて新しいところへと言われている→決まっているわけではない。今議論している。意見は移転先について色々出ている。市長はこの地域と言っている
- ・センターを南港にという噂。橋下さんの噂

○更新の方法

- ・店舗付住宅にしてほしい
- ・新たに店舗用の場所の提供をしてほしい。新しい店ができるまで今の店で営業できるようにしてほしい
- ・工事の着手方法は？→第2も移転として、まとまるのであれば同時に
- ・店舗は仮移転し駅前の総合施設に入れるのか。萩小跡では商売にならない
- ・空き店舗があるような状態は困る

○どこに更新するのか

- ・道路側にしてほしい。表から見えるように
- ・店は第2と一緒に萩小へ行っても商売にならない
- ・駅前開発と言われているが、私らは南側の奥へ追いやられる。新しい人にやける
- ・店舗は駅前が良いが・・・どうしても萩小になるのならセンターは北へ
- ・他から来る店舗は南へ集約された方が潤う。店舗同士が集まって方が良い
- ・萩小のぐるり。道に面したところ
- ・新しくなるのはいいが、駅側に新しい人たちが入ることになるのが少しひっかかる。自分たちは南側になる
- ・店舗は駅前にいきたい。萩小の北に接したところ、商業施設はセンター街区。道路はさんでの南側。向かい合う